

# 工事規制情報のリアルタイム化に向けた システム整備と運用概要について

平成16年3月

## 工事規制情報のリアルタイム化とは？

工事開始・終了の規制情報を迅速に情報収集・処理することにより、一般道路利用者にインターネットや道路情報板等によって規制の状況をリアルタイムに情報提供を行うことです。

## 背景

近年の情報化（IT化）の進展と一般道路利用者ニーズの多様化を背景として、各種メディアによって道路情報提供が行われている。

## 現状の問題点

情報提供端末からの提供内容と、現地の道路交通状況に食い違いがあり、利用者からの苦情が発生している。

工事が集中する時間帯は情報入力が遅延しリアルタイム、正確な情報が提供されない。

工事多発期の登録、開始終了操作の集中により運用員の負荷が高い。

## 対応策

工事規制情報の信頼性の向上

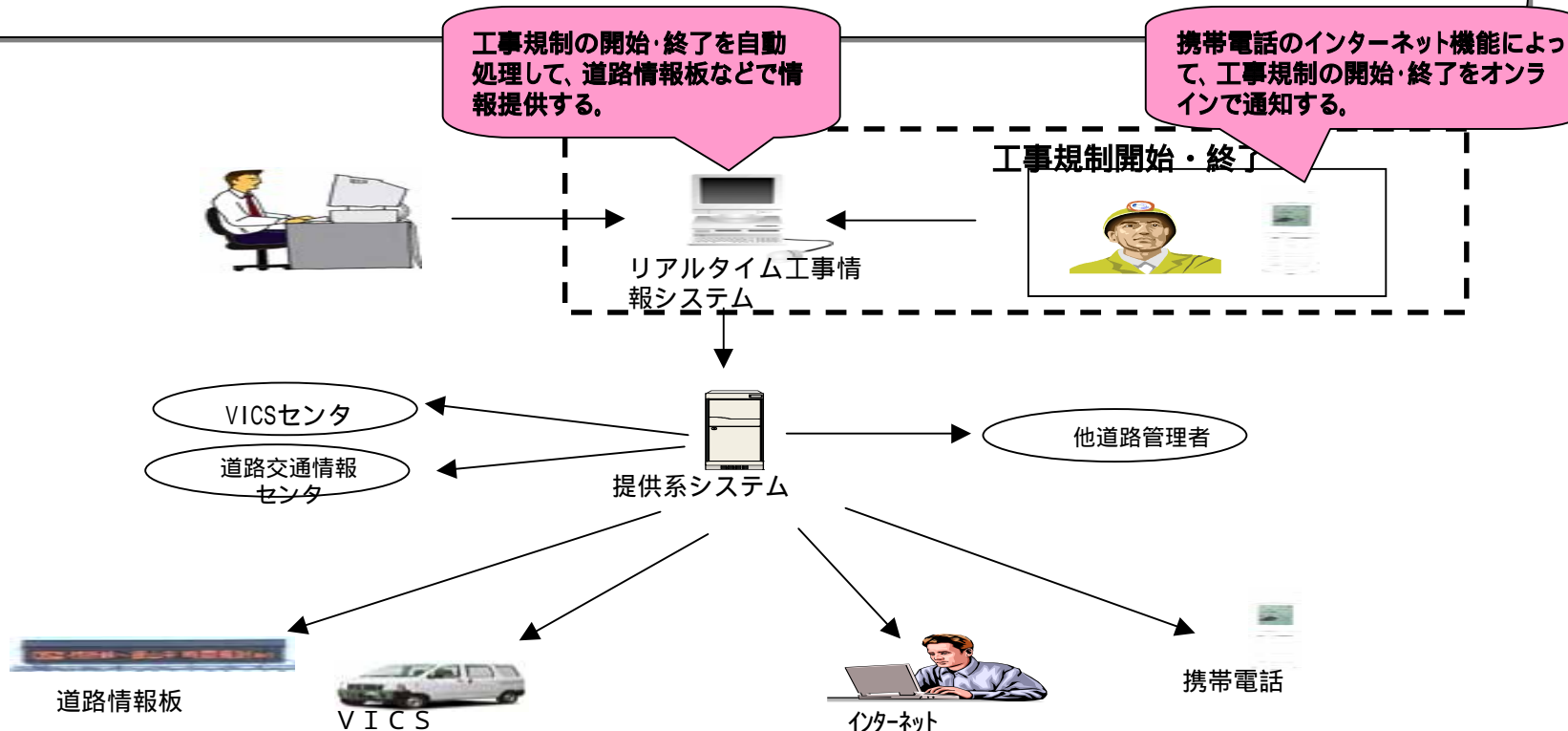
- ・担当職員及び運用員が、容易に工事実施状況等を確認・管理が可能な環境の整備
- ・運用員の負荷を軽減し、道路状況の監視、情報提供操作等を主とする体制の構築

工事実施状況のリアルタイム性の向上

- ・工事情報や突発事象情報を、迅速化に登録・提供処理が行える環境の整備
- ・工事業者等が、現場から容易に工事の開始・終了情報を連絡可能な環境の整備

## 整備イメージ

一般道路利用者への道路情報提供のサービス向上を図ることを目的として、携帯電話のインターネット機能等を利用して現地の工事業者から工事開始・終了の規制情報をリアルタイムに収集・処理するためのシステム整備とその運用を行うものです。



## 期待される効果

工事予定情報の入力、工事開始終了操作等の負荷をシステム導入により軽減し、運用員による道路状況監視の充実、情報提供操作の迅速化が図られる。

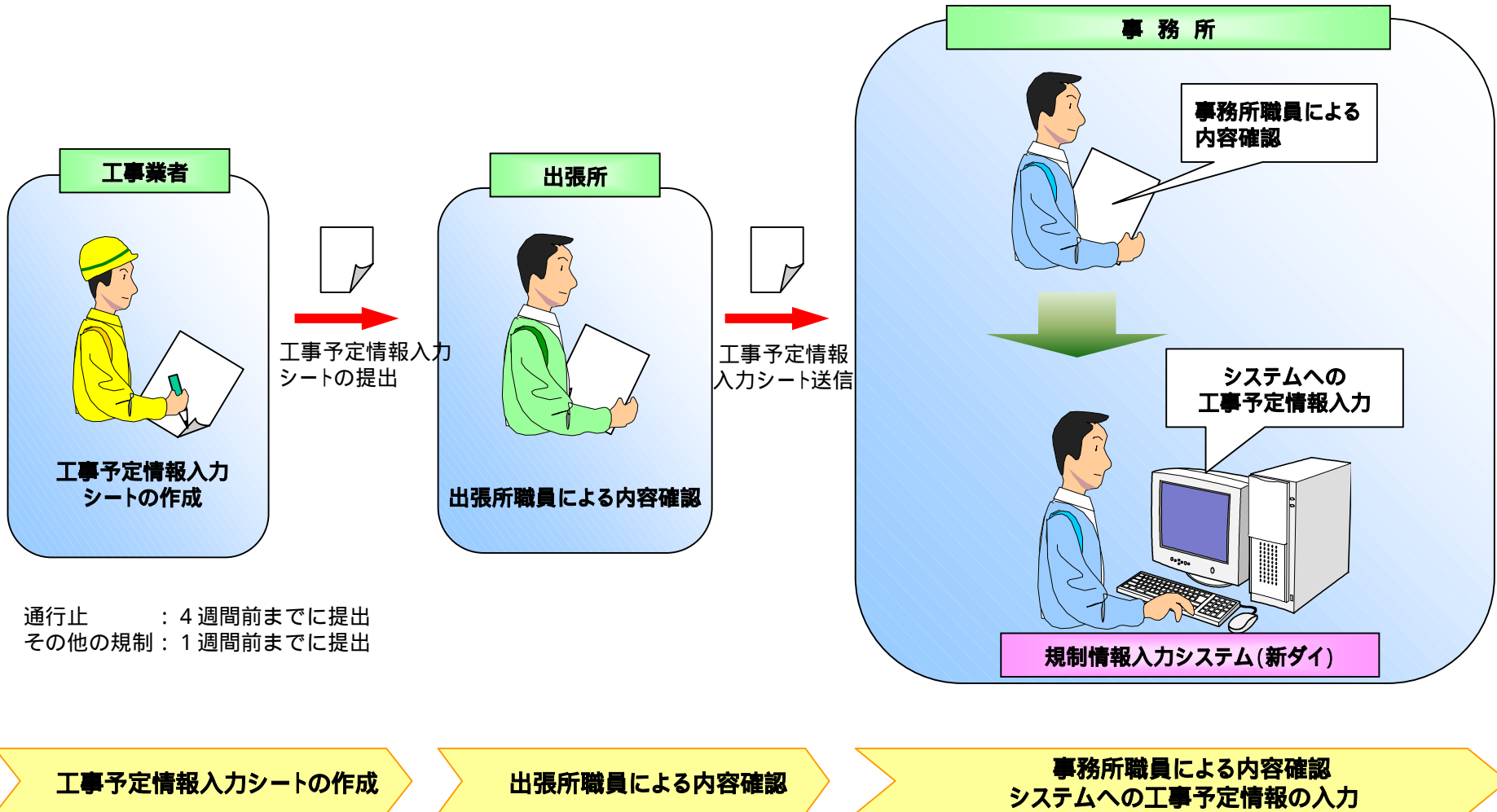
提供情報のリアルタイム化により、一般利用者からの苦情が減少される。

経路選択の判断材料が早めに入手できることにより、ドライバーのイライラ削減や旅行時間の短縮、さらに交通の円滑化が期待される。

## 1 . 現状の工事規制情報に関する運用の流れについて

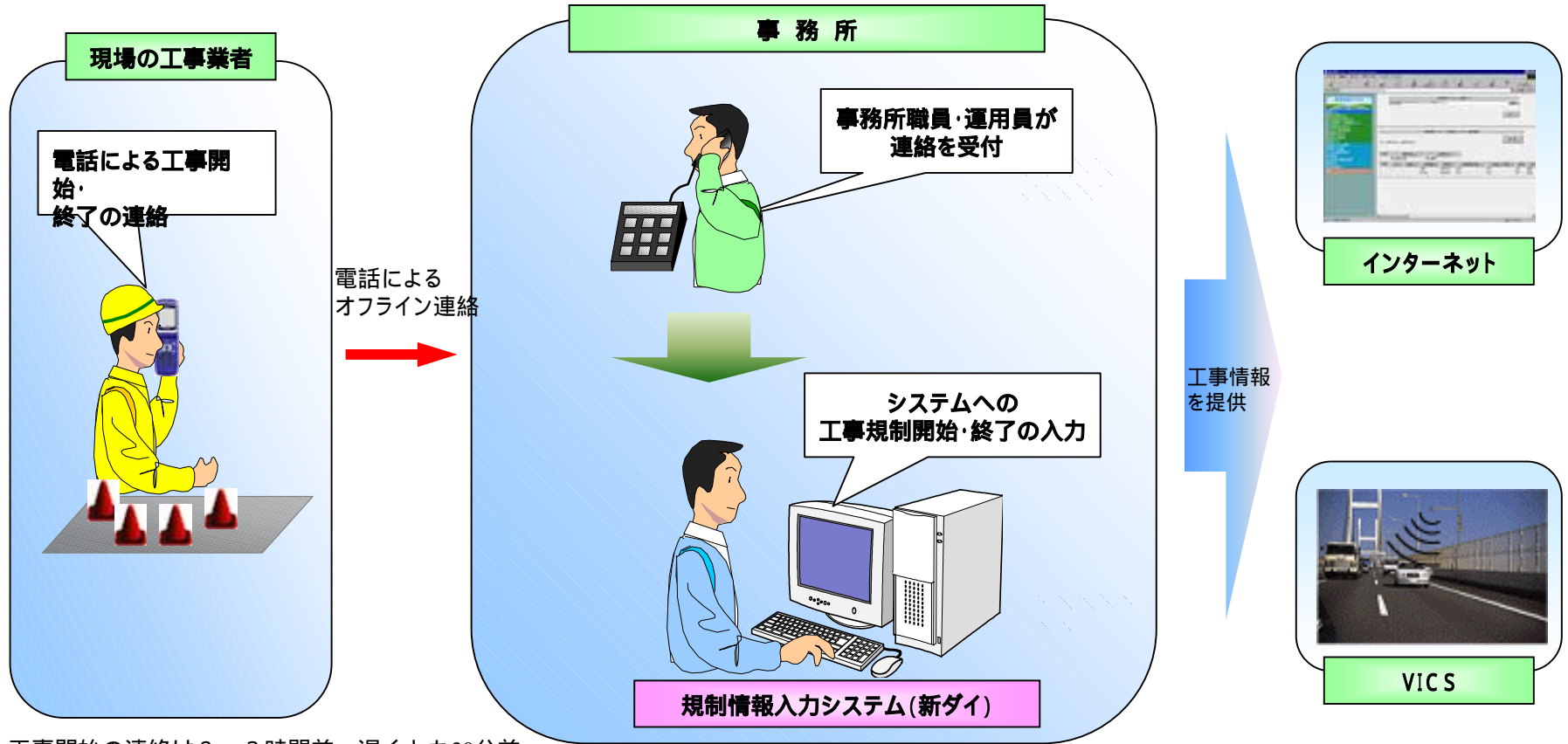
# 現状：前日までの工事予定情報の運用の流れ

## 工事予定情報の提出とシステムへの情報入力



# 現状：当日の工事規制情報の運用の流れ

## 工事開始・終了の電話連絡から情報提供



工事開始の連絡は2～3時間前、遅くとも30分前

業者から開始の連絡が無い場合は中止扱い

工事規制開始・終了連絡

工事業者からの連絡受付  
システムへの規制開始・終了の入力

各種情報提供機器への情報提供

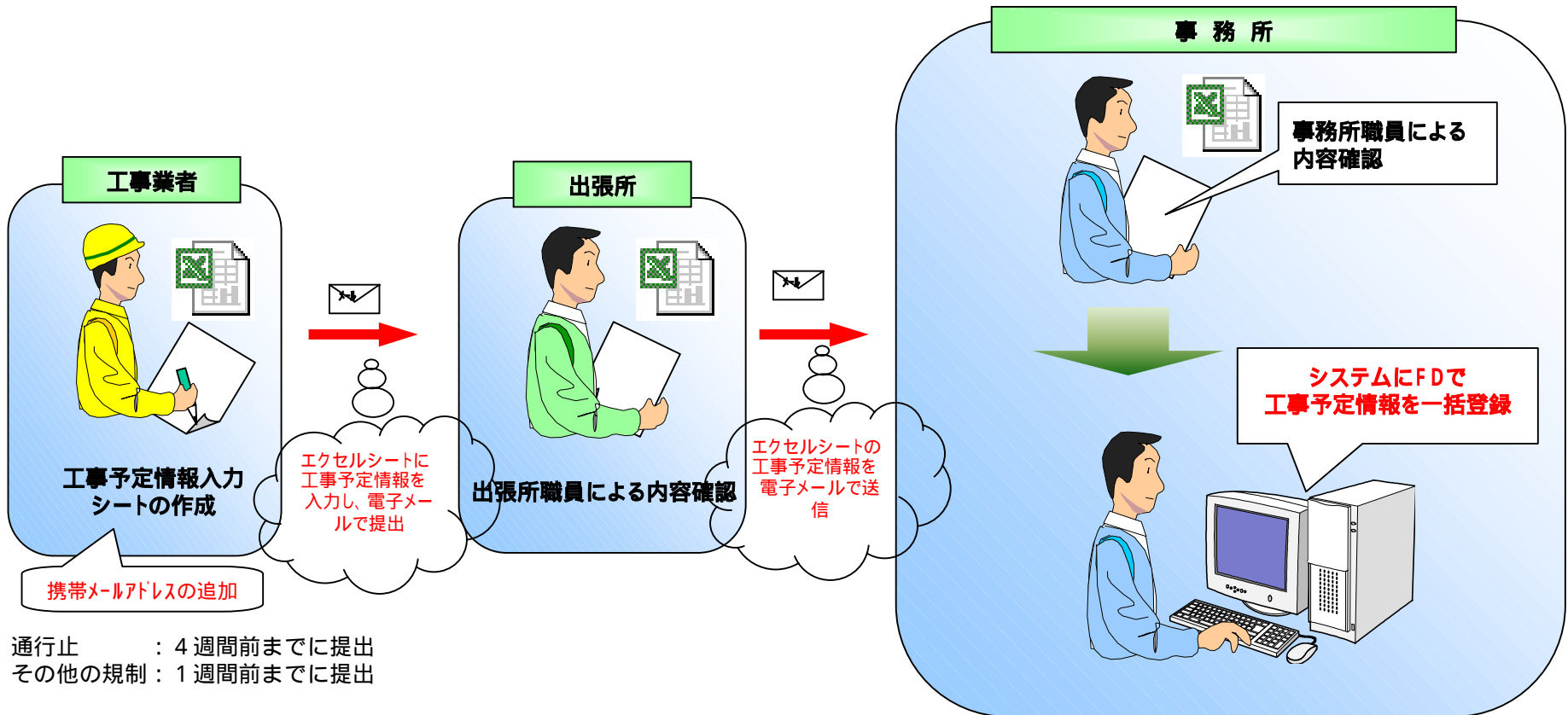
リアルタイム化(オンライン処理)  
(現地からの情報収集から提供機器に情報配信)

## 2 . システム整備後の工事規制情報に関する運用の流れについて



# 前日までの工事予定情報の運用の流れ：その1

## 工事予定情報の提出とシステムへの情報入力



通行止 : 4週間前までに提出  
その他の規制 : 1週間前までに提出

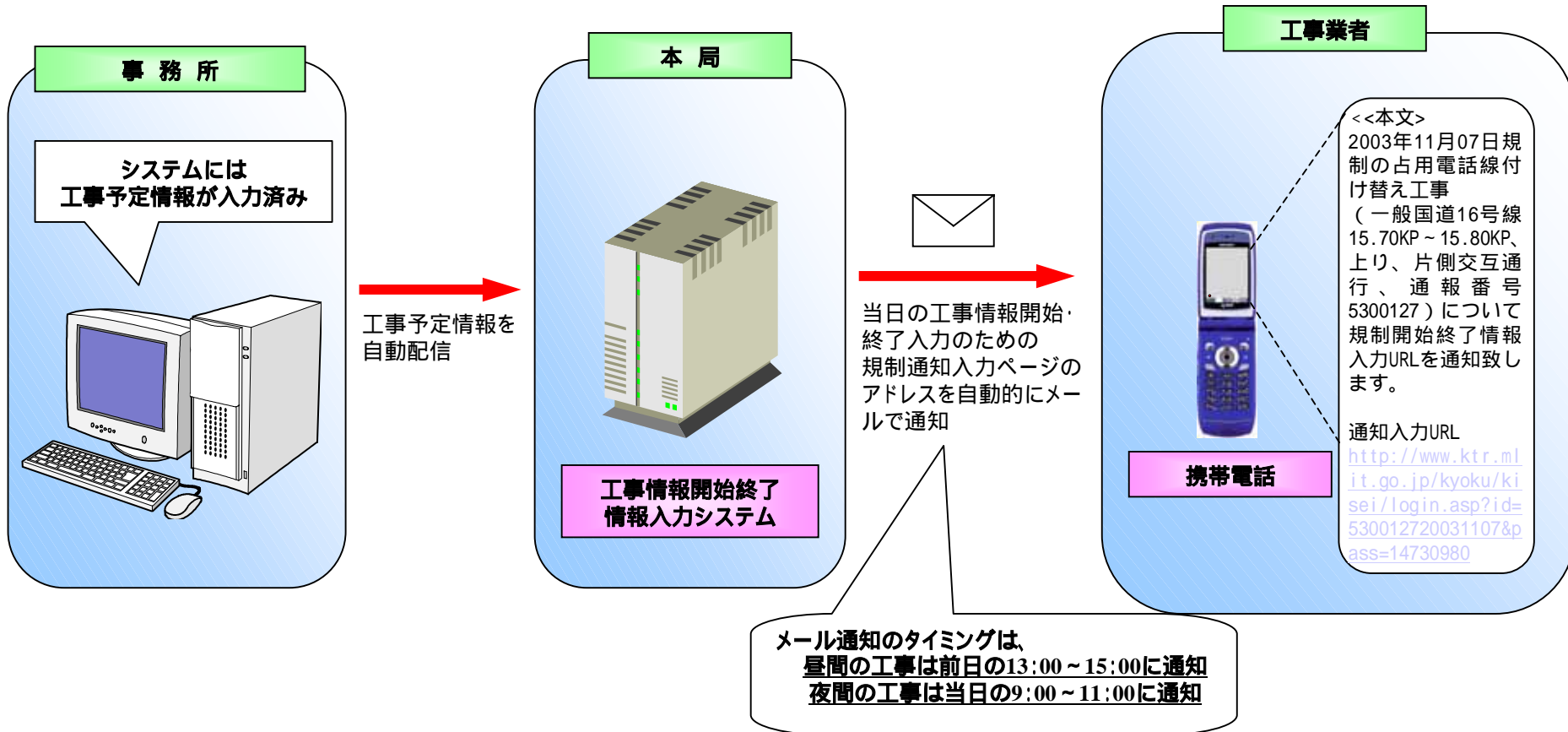
工事予定情報入力シートの作成

出張所職員による内容確認

事務所職員による内容確認  
システムへの工事予定情報の入力

# 前日までの工事予定情報の運用の流れ：その2

## 工事業者へ工事開始・終了情報入力のためのID・パスワード等のメール通知

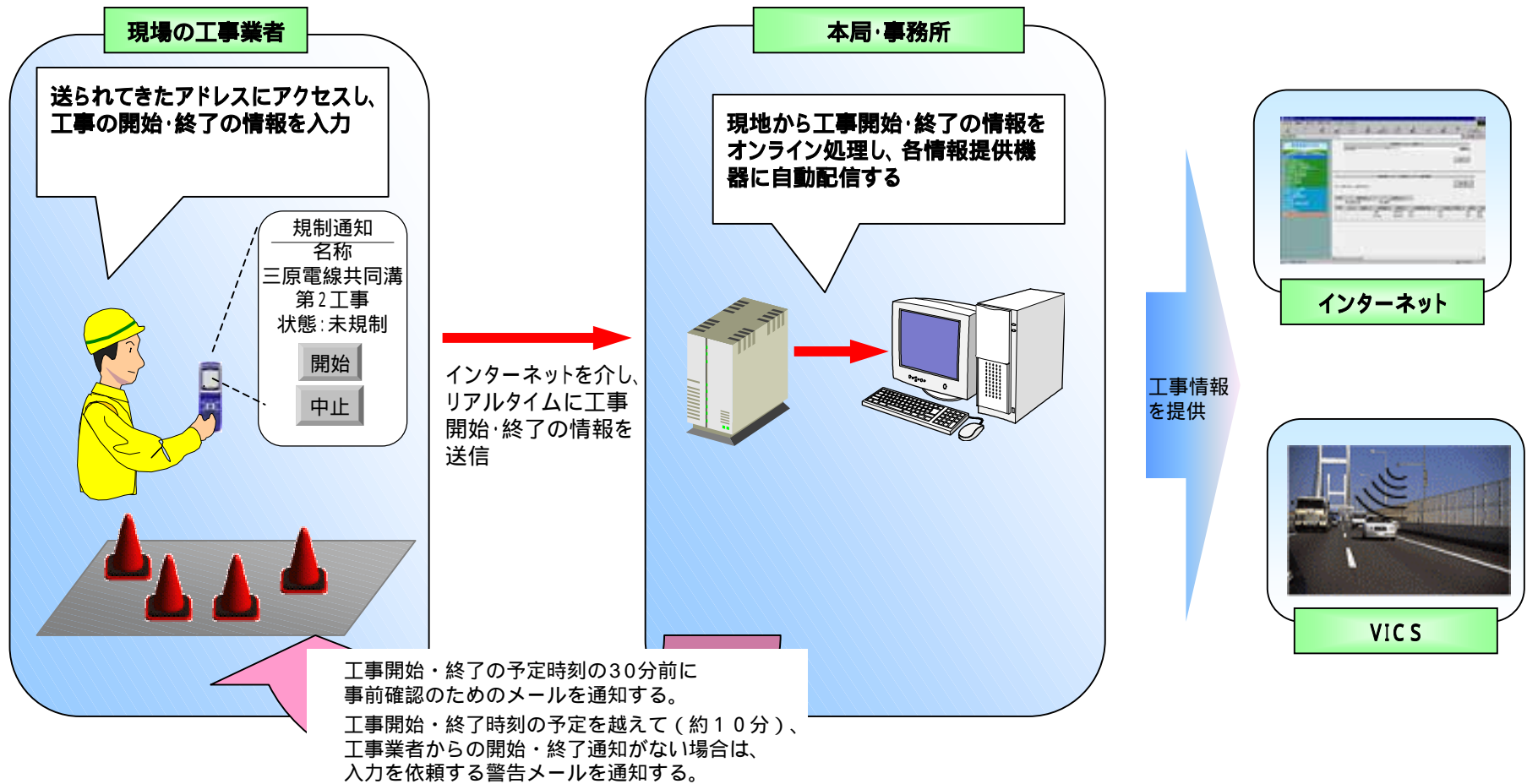


リアルタイム工事情報システムに  
工事予定情報の自動配信

工事業者の携帯電話にメールを自動配信

# 当日の工事規制情報の運用の流れ

## 工事開始・終了情報のオンライン入力から情報提供



現地での工事開始・終了の入力

オンライン処理によりインターネット、VICSへの情報提供